

科目名	学びの技法	担当教員	佐藤 公博 和田 義哉 ※印は実務経験のある教員を示す。			
開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
理学療法学専攻 作業療法学専攻	教養科目	必修	1年次	前期	1単位	講義
ナンバリングコード	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
HR13A	①、③					
科目概要	学びの本質と学びの技法について講義する。高校までの「勉強」と「学び」の違いについて理解し、主体的な学びが実践できるようになるための「技法」の修得を目標とする。技法の修得にあたっては、問題・課題の本質をまず明確にし、それに対する従来の解決法を批判的に理解しつつ、自ら能動的・創造的に思考し、有効な対処が可能な能動的能力を身につける。					
学習目標	① 学びの意味や問うことの意味、個性等について、学ぶ主体性と絡めて自らを振り返る。 ② 本学の教育特質である障害予防リハビリテーション教育を生かした教育学に関する知識を修得する。					
回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目		
1	学びの基礎 1	「主体的に学ぶ」ための準備	「勉強」と「学び」の違いについて理解できる。	佐藤公博		
2	学びの基礎 2	自分で「考える」ことができるようになるための準備①	「問い」を持つことの大切さについて理解できる。	佐藤公博		
3	学びの基礎 3	自分で「考える」ことができるようになるための準備②	「わからない」ことを「わかる」ようになるための具体的な方法を理解し実践する。	佐藤公博		
4	学びの基礎 4	医療者のための「教育学」の基礎知識	教育学に関する基礎理論と医療者のための教育の関係について理解できる。	佐藤公博		
5	アクティブラーニング	チーム学習 ブレインストーミング	グループで学習することによるメリットを認識し、普段でも活用できるようになる。	和田		
6	議論の方法	グループによる議論の仕方	自分の主張に対する根拠をはっきりさせ、反論もできるようになる。	和田		
7	個性と教育	認知特性を知る 知識の習得方法	自分の得意な学習方法を理解し、活用することができる。	和田		
8	効果的な学習	図解のすすめ 文章の要約	長文をいかにまとめるか、また、複雑な内容を図にすることで理解しやすくなる。	和田		
評価方法	各講義担当者により、レポート試験または筆記試験等が実施される。佐藤（50点）、和田（50点）で採点し、その合計を総合評価とする。					
課題に対するフィードバック	講義中・講義終了後に質問を受け、即時回答を行う。					
教科図書	教科書は使用しない。各回、適宜講義資料を配布する。					
参考図書	講義時に随時紹介する。					
学習の準備	事前に配布された資料がある場合は、それについて予習をしておくこと。さらに各回の講義テーマを見て、事前に関連情報にもあたっておくこと。事前・事後学習時間は各90分以上、合計180分以上とする。					
オフィスアワー	火曜日 12:20~12:50					
担当教員欄に※印を付した教員の実務経験						